

非接触式体温計

【警告】

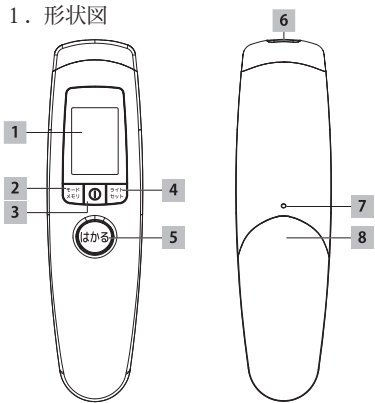
- 本体を落下したり、ぶつけたりして外部から強い衝撃を与えないこと。[全体の機能が停止する原因になる。]
- 使用後は保護ケースに必ずしまうこと。[センサーが汚れ、機能の異常や破損の原因になる。]
- 併用する医療機器の添付文書を必ず参照すること。

【禁忌・禁止】

- 表示部に表示される測定結果の目安となるアイコンは、測定結果が38℃を超えるか否かで表示を切り替えている。しかしながら人によって発熱と判断される温度は異なるので、表示部のアイコン表示だけで発熱の有無を判断しないこと。
- 品目仕様及び使用上の注意に示された使用条件を満たさない状況で使用したり、製造販売業者以外が修理や改造、再調整などを行わないこと。これらに起因する損害について製造販売業者はその責任を負わない。

【形状、構造及び原理等】

本品は、額部から放射されている赤外線を非接触的に測定することによって、舌下部分の温度を推定するために用いる皮膚赤外線体温計である。測定は1～3秒で完了し、温度を表示する。また、物体の表面温度、室内温度を測定することができる。



その他の付属品:保護ケース

- 寸法及び重量
寸法:約47.6 (W) × 188.0(H) × 29.0(D)mm
重量:約82 g (電池含まず)
- 電氣的定格
電源:単4形乾電池 2個
電源電圧:DC 3V 最大消費電力:1W
- 機器の分類
電撃に対する保護の形式による分類:内部電源機器
＊電撃に対する保護の程度による分類:BF形装着部

5. 各部の名称及び機能

No	各部の名称	機能
1	表示部	温度や動作中の状態を表示する。 電源を入れた状態で[はかる]ボタンを押したとき:測定した温度と、測定結果の目安になるアイコンを表示し、測定結果を本体に保存する。 装着した電池が動作に必要な電圧を下回った時は、“  ”が何度か点滅し、電源が自動的に切れる。
2	[モード/メモリ]ボタン	電源を入れた状態で5秒間押し続けたとき:保存された測定値を表示部に表示する。※1 電源を入れた状態で短く1回押したとき:物体表面温度測定モードになる。※2 電源を入れた状態で短く2回押したとき:室内温度測定モードになる。※3
3	電源ボタン	短く押したとき:本体の電源が入る/切れる。
4	[ライト/セット]ボタン	電源を入れた状態で短く1回押したとき:バックライトが約5秒間点灯する。 電源を入れた状態で5秒間押し続けたとき:時間形式、日付、時刻、電子音、バックライトの設定変更ができる。
5	[はかる]ボタン	測定部位の表面温度を非接触的に測定する。測定は1～3秒で完了する。
6	測定センサー	放射赤外線を感知する部位
7	電池収納部 ロック穴	この部位に硬く細長い物体を挿したとき:本体に固定されている電池収納部カバーのロックがはずれる。
8	電池収納部カバー	電池装着部位の蓋

- ※1測定値の自動保存機能および表示:体温測定値の最新60件を自動保存する。[モード/メモリ]ボタンを5秒以上押し続けると、最後に保存された測定値を表示する。
- ※2物体表面温度の測定および表示:電源を入れた状態で[モード/メモリ]ボタンを短く1回押した後、[はかる]ボタンを押すと測定を行う。測定は約1秒で終了し、表示部に測定値を表示する。
- ※3室内温度の測定および表示:電源を入れた状態で[モード/メモリ]ボタンを短く2回押すと測定を行う。表示部に測定値を表示する。

6. 原理

額皮膚の温度を測定するメリットは皮膚が薄く、下を流れる側頭動脈の血液が体内温度に非常に近いことである。本品は額皮膚の温度を測定するための装置で、周囲温度センサーが備った赤外線センサー、熱電変換ブロックおよび関連する回路から構成されている。本品に搭載されているセンサーの指定部位全体が額皮膚

をカバーするように、本品を患者の額皮膚から2～3cm離れた場所に固定させることで体内温度を測定する。実際の動作は、[はかる]ボタンが押下されると放射線交換による測定が開始され、輻射束が皮膚からディテクターに移る。ディテクターから読みだされた電気信号は増幅、演算回路を経由して、最大測定温度が表示部に表示される。本品は全ての作動に数秒を要する。付帯機能である物体表面温度の測定も同様の動作原理を用いている。もうひとつの付帯機能である室内温度の測定は、周囲温度センサーにより測定を行っている。周囲温度センサーは測定センサーのパッケージに実装されており、近傍のディテクターは周辺温度を監視する構成要素である。

7. 仕様

項目	仕様
体温測定範囲(測定部位:額)	+34.0～+42.2℃
物体表面測定範囲	-22.0～+80.0℃
室内温度測定範囲	+10.0～+40.0℃
体温測定精度	+36.0～+39.0℃において ±0.2℃以内、 それ以外は±0.3℃以内
物体表面温度測定精度	±4%または±2℃のどちらか 大きい値
室内温度測定精度	±2.0℃
使用環境温湿度	+10.0～+40.0℃、95%RH 以下 (但し、結露のないこと)
保管環境温湿度	-20.0～+50.0℃、85%RH 以下 (但し、結露のないこと)
機械的衝撃	体温測定精度の範囲を超えてはならない。
長期安定性の影響	体温測定精度の範囲を超えてはならない。
最小表示単位	0.1℃

電磁両立性(EMC)はEN60601-1-2:2007に適合。

【使用目的又は効果】

本品は、額の皮膚温度を測定するために用いる。

【使用方法等】

- 使用前の準備
使用を開始する前に本体に電池を装着すること。また、電池が消耗した時も同じ手順で新しい電池と交換すること。
(1)クリップなど硬く細長い物体を電池収納部ロック穴に挿しこみながら、電池収納部カバーを下にずらし、電池収納部カバーを取りはずす。
(2)古い電池が装着されている場合は、電池収納部から取り出す。
(3)＋の向きに注意しながら単4乾電池2本を取り付ける。
(4)電池収納部カバーを元に戻す。
- 基本設定
＊時間形式、日付、時刻、電子音、バックライトの変更操作。
本体を初めて使用する時と電池を交換した後は必ず行

うこと。

- (1)電源ボタンを短く1回押す。
- (2)本体が自己検査を行って問題がなければ「ピッ」と短い音が2回鳴り、“”が表示される。
- (3)[ライト/セット] ボタンを約5秒間押し続ける。
- (4)時間形式の選択画面になるので、[モード/メモリ] ボタンを押して「24H」または「12H」を選び、[ライト/セット] ボタンを押す。
- (5)日付の入力画面になるので、[モード/メモリ] ボタンを押して現在の年(西暦)を選び、[ライト/セット] ボタンを押す。
- (6)続いて月日の入力画面になる。手順(4)で「24H」を選んだ場合は「日→月」の入力順、「12H」を選んだ場合は「月→日」の入力順になるので、それぞれ[モード/メモリ]ボタンで数値を選んだ後に[ライト/セット] ボタンを押して、月日を確定する。
- (7)続いて時刻の入力画面になる。「時→分」の入力順になるので、それぞれ[モード/メモリ]ボタンで数値を選んだ後に[ライト/セット] ボタンを押して、時刻を確定する。
- ＊(8)続いて電子音の有効/無効の選択画面になる。表示部の右上に“”アイコンが表示されたら、[モード/メモリ] ボタンを押して「On」(有効)または「OFF」(無効)を選び、[ライト/セット] ボタンを押す。
- ＊(9)続いてバックライトの有効/無効の選択画面になる。表示部の左中段に“”アイコンが表示されたら、[モード/メモリ]ボタンを押して「On」(有効)または「OFF」(無効)を選び、[ライト/セット] ボタンを押す。

3. 体温測定

- (1)電源ボタンを短く1回押す。
- (2)本体が自己検査を行って問題がなければ短い電子音が2回鳴り、“”が表示される。
- (3)額部から2～3cm離れた場所に部位6(測定センサー)が位置するように保持する。
- (4)[はかる]ボタンを押す。測定が完了すると電子音が鳴る。表示部に測定温度が表示される。電子音が2回鳴り、“”が点滅から点灯に変わると次の測定が可能となる。いずれの電子音も無効設定している場合は鳴らない。
- (5)測定結果が38℃を超えた場合は“”が表示され、それ未満では“”が表示される。

4. 測定値の自動保存機能および表示

- 体温測定値は最新60件が自動保存される。
- (1)[モード/メモリ]ボタンを5秒以上押し続けると、最後に自動保存された測定値が表示される。
 - (2)さらに[モード/メモリ]ボタンを押すたびに、古い測定値に遡って表示される。
 5. 物体表面温度の測定および表示
(1)[モード/メモリ]ボタンを短く1回押した後、[はかる] ボタンを押すと測定を行う。
(2)測定は約1秒で終了し、表示部に測定値が表示される。
＊物体表面温度の測定値は自動保存されない。

取扱説明書を必ずご参照ください

取扱説明書を必ずご参照ください

6. 室内温度の測定および表示

- (1) [モード/メモリ] ボタンを短く2回押すと測定を行う。
(2) 表示部に測定値が表示される。
※室内温度の測定値は自動保存されない。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- ＊(1) 本体や付属品を乳幼児の手の届かない場所に置く。
[誤飲やけがのおそれがある。]
(2) 本体を分解・改造しない。[故障の原因になる。]
(3) 本体に激しい衝撃を与えない。[故障の原因になる。]
(4) 本体を直射日光にさらさない。[故障の原因になる。]
(5) 測定センサーに触れない。[誤作動や故障の原因になる。]
(6) 本体を液体に浸けない。液体のかかる場所で使わない。[故障の原因になる。]
(7) 表示部を強く押したり、硬いものや鋭利なもので突いたりしない。[故障の原因になる。]
(8) 保管環境温湿度以外の環境下で保管しない。[故障の原因になる。正しく測定できない。]
(9) 携帯型短波 (HF) 無線の近くで使わない。[誤作動や故障の原因になる。]
(10) 損傷があるときは使用しない。[けがのおそれがある。正しく測定できない。]
(11) レンズに傷があるときは使用しない。[正しく測定できない。]
(12) 測定する物体にレンズを接触させない。[レンズが傷つくと正しく測定できなくなるおそれがある。]
(13) 発煙・異臭または異音が生じた場合には、直ちに使用を中止する。
(14) 本体に水をかけない。[感電の危険がある。]

2. 使用上の注意

- (1) 体温を確認するための製品であるので、医師による診断に代わるものではないことに注意する。
(2) 耳・額・わきの下などの平熱をあらかじめ検温しておく。[個人差により、額とわきの下の体温が約 1℃異なることがある。]
(3) 子供だけで使わせない。[けがのおそれがある。]
(4) 測定時は早めに測定する場所に本器を移動して周囲の温度になじませる。[測定誤差が大きくなるため。]
(5) 測定前に長時間本体を持たない。[本体が温まり正しく測定できない。]
(6) 体温測定モードでは、額部以外の体の部位に対して使わない。[額部が測定部位であるため。]
(7) 興奮状態や額部に汗をかいているとき、肌が紅潮しているとき、脈拍が早いとき、血管収縮薬の摂取時、皮膚のかぶれがあるとき、虚脱時などに測定をすると、温度変化として現れる場合があることに留意する。[正しく測定できないことがある。]
(8) 額部の体温が奪われるような通気の良い場所では測定しない。[正しく測定できないことがある。]
(9) 暖房機の近くなど、温風が直接あたるところで測定しない。[正しく測定できないことがある。]

- (10) 以下の状態にあった場合は額部の温度が安定するまで待ってから測定する。
・直前まで運動をしていた場合。
・直前まで測定場所と著しく異なる気温下にいた場合。
・直前まで冷湿布などを額部に当てていた場合。
・直前まで帽子などを着用していた場合。
・直前に入浴やシャワー、サウナやヘアドライヤーを使用していた場合。
(11) 測定部位の汗や化粧品はふき取ってから測定する。
(12) 測定部位に接触して測定しない。[正しく測定できない。]
(13) 測定部位に対して測定センサーを2～3cmの距離で垂直に向ける。[ずれると正しく測定できない。]
(14) 表示部にエラーメッセージが表示された時は、取扱説明書の「トラブルシューティング」の項目を確認して対処する。

【保管方法及び有効期限等】

＜保管方法＞

- 温度：－20～＋50℃
- 湿度：85%RH以下(但し、結露のないこと)
- 保管方法：日光下や強い電磁波の生じる場所、ほこりの多い場所では保管しない。
- 保管するときには、収納ケースに入れて保管する。[守らないと故障するおそれがある。]

＜耐用期間＞

- 耐用期間：4年(自己認証による)

【保守点検に係る事項】

＜洗浄、清掃及び消毒＞

- 本体を介しての感染症を予防するために、本体を常に清潔に保つこと。

＜測定センサー部の清掃＞

- 濃度70%のアルコールで湿らせた清潔な布か綿棒を使って軽く拭く。

＜本体の清掃＞

- 低刺激の石鹸水を浸した柔らかい布をよく絞り、拭く。
- ＊・煮沸消毒したり、ベンジン・シンナー等の溶剤で洗浄したりしない。[故障または本体表面の傷の原因になる。]
・本体内部に液体が入らないように注意する。
・本体が完全に乾くまでは使用しない。

＜使用者における保守点検事項＞

- 電池のアルカリ液が目に入ったときは、すぐに多量のきれいな水で洗い流し、医師の治療を受ける。[失明などのおそれがある。]
- 電池のアルカリ液が皮膚や衣服に付着した場合には、すぐに多量のきれいな水で洗い流す。
- 電池を火に入れたり、加熱、分解、改造などしない。
- 電池のプラス、マイナスを逆にして使用しない。
- 付属の電池を充電しない。[液漏れ、発熱、破裂の恐れがある。]
- 電池のプラス、マイナスを針金などで接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管をしない。

- 新しい電池と使用した電池、銘柄や種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
- 使い切った電池はすぐ本体から取り出す。
- 本体が濡れている時や湿気の多い場所では絶対に使用や電池交換をしない。また濡れた手で電池交換をしない。[感電の危険がある。]
- 指定されている電池以外は使用しない。
- 電池の交換方法は、本文書「使用前の準備」の項目の手順に従う。
- 電池を交換する際は、必ず電源を切ってから行う。
- 電池交換後は必ず電池収納部カバーを閉じてから使う。
- 長期間使用しない場合には、本体から電池を取り出す。
- 電池を廃棄するときは、それぞれの自治体が定める方法に従う。
- 製品に添付された乾電池は動作確認用のため、測定時には新しい電池を使う。

【製造販売業者及び製造業者の氏名または名称等】

製造販売業者：株式会社カスタム
電話番号：03-3255-1117

製造業者：RADIANT INNOVATION INC.(ラディアント)
輸入先国：中国

取扱説明書を必ずご参照ください

取扱説明書を必ずご参照ください